

探究で身につく力の家庭観察メモ（4週分）

といのタネ

この用紙は、子どもの探究の作業を週1回15分で聞き取り、話に出た事実を記録するためのものです。内容の良し悪しや成績には触れず、事実だけを書きます。1回分はステップ1〜4を上から順に埋めると終わります。

記入者: _____ 開始日: _____

ステップ1 今いる過程を選んでもらう（約2分）

ここでは、子どもに今いる探究の過程を1つ選んで指さしてもらいます。過程は「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」の4つです。前の週と同じ過程でもかまいません。途中で前の過程に戻ることもあります。

週	聞き取りの日付	今いる過程
記入例	11月22日	情報の収集
1週目		
2週目		
3週目		
4週目		

ステップ2 今週の作業を1つ聞く（約5分）

ここでは、下の質問から1つ選んで聞き、子どもの話の要点を書きます。質問は自分の口調に直してかまいません。「なぜ」で始めず、「どこで」「何を」で始めると答えやすくなります。

- 知識・技能を聞く質問は「調べて初めて知ったことは何？」です。
- 思考力・判断力・表現力を聞く質問は「集めた情報のうち、どれを使ってどれを外した？」です。
- 主体的・協働的な態度を聞く質問は「班の人の意見で変えたところはある？」です。

週	聞いた質問	子どもの話の要点（事実だけ）
記入例	調べて初めて知ったことは何？	市の資料で、商店街の空き店舗が前より増えていたと知った
1週目		
2週目		
3週目		
4週目		

ステップ3 話に出た力に印を付ける（約3分）

ここでは、ステップ2の話で動いていた力に○を付けます。判断の目安は次の3つです。資料名や数字を挙げて説明できたら知識・技能に○を付けます。使った情報と外した情報の理由を話せたら思考力・判断力・表現力に○を

付けます。班員の意見と自分の変更点を話せたら主体的・協働的な態度に○を付けます。話に出なかった柱は空欄のままにします。

週	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的・協働的な態度	○を付けた理由になった発言
記入例	○			市の資料の名前を挙げて説明した
1週目				
2週目				
3週目				
4週目				

ステップ4 来週の1手順を子どもが決める（約5分）

ここでは、来週やる作業を1つだけ、子ども自身の言葉で書いてもらいます。親が案を出すのは、子どもが詰まったときに1つまでにします。気づき欄には、生成AIの使い方など学校の方針を確かめたい点を親がメモします。

週	来週の1手順（子どもの言葉）	気づき（親のメモ）
記入例	アンケートの質問を5つに減らして先生に見せる	アンケート作りにAIを使ったと話していた。学校の案内を確認する
1週目		
2週目		
3週目		
4週目		

ステップ5 4週分を振り返る（約5分）

ここでは、4週目が終わったあとにステップ3の○の数を数えます。○が少ない柱は、次の4週でその柱の質問を多めに選ぶ目安にします。子どもの力の評価には使いません。

- 知識・技能の○の数: _____
- 思考力・判断力・表現力の○の数: _____
- 主体的・協働的な態度の○の数: _____
- 次の4週で多めに聞く柱: _____
- 学校に確かめたいこと: _____

記入例（1週目を通して書いた場合）

1週目は、子どもが「情報の収集」を指さしました。親は知識・技能の質問を選び、子どもは市の資料で空き店舗が増えていたと話しました。資料の名前を挙げていたので、知識・技能に○を付けました。来週の1手順は、子どもが「アンケートの質問を5つに減らして先生に見せる」と決めました。アンケート作りにAIを使ったと話していたため、気づき欄に書き、学校の案内を確かめてから話すことにしました。